

2019年6月28日

四国アイランドリーグplus

事務局長 田室 和紀

北米遠征Can-Am League公式戦・第11戦、第12戦

今遠征初の完封勝利を含む2連勝！通算成績は6勝6敗

カナダ現地時間6月27日(木)15時(日本時間6月28日(金)4時)より、昨日サスペンデッドゲームとなった四国アイランドリーグplus選抜チーム SHIKOKU INDEPENDENTSのCan-Am League公式戦・第11戦の再開試合、また19時5分(日本時間8時5分)より第12戦が、トロワリヴィエール・エーグルスと行われました。

昨日雨天のため中断となった試合は、ILがリードしていましたが、5回表1死満塁のピンチから再開します。マウンドに上がった古屋(高)はこのピンチを最少失点で切り抜け、逆転を許しません。5回、6回、8回には高井(高)の適時打などで1点ずつを追加します。その後同点に追いつかれ、試合は延長戦へ突入します。無死二塁から四死球などで満塁とすると、高井が適時打を放ちサヨナラ勝ちを収めました。

ダブルヘッダー第2試合は0-0で迎えた4回、敵失から得た1死三塁のチャンスから内野ゴロの間に1点を先制します。5回には横溝(徳)のスライズで1点を追加しリードを拓けます。先発の石井(高)は7回5安打無失点13奪三振の好投を見せ、見事連勝を飾りました。

試合結果は以下のとおりです。

【ダブルヘッダー第1試合】

(6月26日(水)サスペンデッドゲームの再開試合)

※雨天により5回表1死満塁で中断、27日(木)15時(日本時間28日(金)4時)より5回表1死満塁より再開

6月26日(水) スタッド・フェルナンド・ベダール 試合開始19:05 ※日本時間6月27日(木)8:05am														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	H	E	
トロワリヴィエール・エーグルス	3	0	0	0	5	0	2	0	1	0	11	14	1	
SHIKOKU INDEPENDENTS	4	1	2	1	1	1	0	1	0	1x	12	20	0	

※延長10回以降はタイブレーク制(無死二塁の状況から攻撃を始める)

勝:伊藤 負:Ferguson

トロワリヴィエール・エーグルス

<投>McNorton—Morris(3回裏途中)—Lafleur(5回裏先頭)—Rossman(7回裏先頭)—
Ferguson(9回裏先頭)

<捕>Deluca

SHIKOKU INDEPENDENTS

<投>安丸—林(1回表途中)—大高(5回表途中)—古屋(5回表途中)—道原(8回表先頭)—
四戸(9回表先頭)—伊藤(10回表先頭)

<捕>川端

本塁打:Nathans2(TRA)、Suchy(TRA)

三塁打:白方(IL)

二塁打:Sniatynski(TRA)、高井(IL)、太田(IL)、Desilets(TRA)、中村(IL)、Brennan(TRA)

【ダブルヘッダー第2試合】

6月27日(木) スタッド・フェルナンド・ペダール 試合開始19:05 ※日本時間6月28日(金)8:05am										
	1	2	3	4	5	6	7	計	H	E
SHIKOKU INDEPENDENTS	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0
トロワリヴィエール・エーグルス	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3

※7回制

勝:石井 負:Murphy

SHIKOKU INDEPENDENTS

<投>石井

<捕>横溝

トロワリヴィエール・エーグルス

<投>Murphy

<捕>Hermelyn

二塁打:Glaude(TRA)、Suchy(TRA)

【養父鐵監督のコメント】

1試合目はまず、再開したところで古屋が崩れずに最少失点でしっかり抑えてくれたところが大きかったです。その後はシーソーゲームのような状態にはなりましたが、延長タイブレークとなったところで伊藤が3人できっちり抑えて流れを引き寄せ、その流れのまま最後高井が打ってくれたので良かったです。

2試合目に関しては、雨の影響で試合が持ち越しになったり、一時中断になったりと調整が難しかった中で、先発の石井が頑張って投げ切り完封したことは、彼にとっても自信に繋がると思いますし、彼の頑張りや姿勢がチーム内に刺激をもたらすことになると思います。これまでは野手陣が頑張って点を取ってくれていましたが、この試合に関しては、投手が頑張ってくれて、チーム力という意味で今日の試合に勝つことができたことは本当に大きかったと思います。チーム全体が自分がやってやるという自覚を持ってプレーしてくれているので、そこが一番大切なことだと思います。明日はまた別のチームとの初戦になるので、何とか勝てるようにチーム全体で頑張っていきたいです。

【高井選手のコメント】

最後の打席は、みんなが繋いでくれたので、大振りせず芯に当てればいけると思って気負いせずに打席に入ることができました。北米に来て、最初は色々と考える部分がありましたが、それが上手くハマるようになってきたことが良い結果に繋がってきたと思います。コンディションをしっかり整えて残りの連戦も頑張りたいと思います。

【石井選手のコメント】

今日は球数が気にならないほど、必死に投げ込むことができました。養父監督にアドバイス頂いたことを実践して試合の入り方やイニング間の時間の使い方も良くなってきていると思います。横溝さんとも色々話をして、外国人選手に対する配球であったり、変化球も今までより多く投げ込んだりして、そこから自信に繋がる部分もここ数試合で出てきていたので、後期シーズンに向けて自分自身も楽しみなどころはあります。リリーフ陣も連戦で疲れている中、ここで自分が投げ切れたことはチームにとっても良かったのかなと思います。長い連戦になりますが、遠征後の後期シーズンも見据えて頑張っていきたいと思います。

公式記録はCan-Am League HPをご参照ください。

第1試合 <http://canam.wttbaseball.pointstreak.com/boxscore.html?gameid=486197>

第2試合 <http://canam.wttbaseball.pointstreak.com/boxscore.html?gameid=486198>

試合の一球履歴は以下URLをご参照ください。

第1試合 <https://baseball.omyutech.com/CupHomePageHistory.action?gameId=20196232379>

第2試合 <https://baseball.omyutech.com/CupHomePageHistory.action?gameId=20194711537>

四国アイランドリーグplus運営事務局 株式会社IBLJ

<http://www.iblj.co.jp>

香川県高松市大工町7-21 HERMITビル4階

TEL087-802-1580 FAX087-802-1581 担当:市川